

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.7〉

〈恩田② 課題とキーマン〉

かつて田畑だった土地の多くが、一戸建てが立ち並び住宅地に変わり、住みやすさで市内でも人気地区となった恩田。何代にもわたって住む人と地縁のない人が入り交じり、地域づくり協議会の真宅宣昭会長(64)は「地域団体役員の手不足に加え、年配者と若い世代の交流が課題」と言っ。



今年度のジュニアリーダー(恩田小体育館で)

地域で子育て、活動支援

空港グラウンドでの夏祭り、小学校での冬祭り、運動会、文化祭は、地域のつながりをつくる四大イベント。真宅会長はコロナ禍で開催できていないことに危機感を募らせている。8月6日に3年ぶりの開催を予定していた夏祭りも、急激な感染拡大で再び中止となった。「続いてきたものが途切れると、再開させるのにもパワーが必要。今年は何とか実施したかった」と残念がる。

地域の宝である子どもたちを地域で育てようという意識も高い。昨年か

年配者と若者の交流維持、促進へ

空港グラウンドでの夏祭り、小学校での冬祭り、運動会、文化祭は、地域のつながりをつくる四大イベント。真宅会長はコロナ禍で開催できていないことに危機感を募らせている。8月6日に3年ぶりの開催を予定していた夏祭りも、急激な感染拡大で再び中止となった。「続いてきたものが途切れると、再開させるのにもパワーが必要。今年は何とか実施したかった」と残念がる。

空港グラウンドでの夏祭り、小学校での冬祭り、運動会、文化祭は、地域のつながりをつくる四大イベント。真宅会長はコロナ禍で開催できていないことに危機感を募らせている。8月6日に3年ぶりの開催を予定していた夏祭りも、急激な感染拡大で再び中止となった。「続いてきたものが途切れると、再開させるのにもパワーが必要。今年は何とか実施したかった」と残念がる。

支えている。

地区子ども会育成連絡協議会会長で、ここに「おひさまクラブの理事でもある五十崎良さん(40)は、恩田で生まれ育った。「地域が子どもを育てている恩田の良さは、自分も県外に出て改めて感じた。この環境と意識を5年、10年先も守っていくことが大事」と語る。

地域だからこそ学べるもの、得られるものを守りながら、子どもたちの古里への愛着を育む活動が「一人と人をつないで、みんなが笑顔で安心できる地域をみんなで作る」という将来像につながっている。